



水道技術管理者資格取得講習会（東京会場第1回：9月21日～10月12日、
東京会場第2回：9月27日～10月15日、
大阪会場：10月20日～11月10日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、東京会場第1回：60名、東京会場第2回：44名、大阪会場：63名の参加を得て、「水道行政・水道経営」、「水質管理・公衆衛生・衛生管理」、「水道基礎工学概論」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、この後に「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合するろ過設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第2回：10月12日～15日、
東京会場第3回：10月26日～29日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員（水道関係企業所属）の方々を中心に21名（東京会場第2回：9名、東京会場第3回：12名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第755回抄録委員会（10月18日）

本誌1・2月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第165回水道 GLP 認定委員会（10月19日）

水道 GLP 認定について審議した結果、長崎市上下水道局（JWWA-GLP047）、山形市上下水道部（JWWA-GLP048）、環境未来株式会社（JWWA-GLP092）、株式会社総合環境分析（JWWA-GLP096）及び一般社団法人新潟県環境衛生中央研究所（JWWA-GLP129）の認定更新を決定した。

また、水戸市上下水道局水道部（JWWA-GLP072）、長岡市水道局（JWWA-GLP119）及び豊橋市上下水道局（JWWA-GLP141）の認定維持、並びに一般社団法人山梨県食品衛生協会（JWWA-GLP046）、株式会社北陸環境科学研究所（JWWA-GLP053）、平成理研株式会社（JWWA-GLP054）、静岡市上下水道局（JWWA-GLP055）、池田市上下水道部（JWWA-GLP056）、一般財団法人宮城県公衆衛生協会（JWWA-GLP095）及び一般財団法人中部公衆医学研究所（JWWA-GLP100）の認定延長を決定した。

第136回労務調査専門委員会（10月20日）

はじめに、審議事項「委員長の互選について」を上程し、委員長には、これまで副委員長であった横浜市水道局総務部人事課長の雨堤委員を、これにより空席となった副委員長には、大阪市水道局総務部職員課長の松永委員をそれぞれ選任した。

続いて、委員から提案された情報交換事項として「①技能労務職員の採用等について」、「②人事給与システム及び総務事務センターの導入状況について」、「③退職手当に係る一般会計等との負担区分について」、「④選挙事務の取り扱いについて」それぞれ活発な意見・情報交換が行われた。



未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：10月21日～22日）

水道事業体及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々16名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を主体とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、事務局設定のテーマに基づき意見交換が行われた。

第44回水道施設に関する規格専門委員会（10月22日）

水道用ダクタイル鋳鉄管・異形管（JWWA G 113・114）及び水道用 GX 形ダクタイル鋳鉄管・異形管（JWWA G 120・121）について、管種の追加・削除及び継手構造・接合部品の見直しを検討するため第1回目の委員会を開催し、規格改正についての審議を行った。

なお、令和3年12月に第2回目の審議を行う予定である。

配管設計講習会（九州会場第1回：10月27日～29日）

水道事業体及び設計業者等の経験が少ない水道技術者の方々36名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX 形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX 形）の積算演習」について研修を実施した。

水道技術管理者研修会（10月28日～29日）

水道技術管理者または管理者を補佐する方々85名の参加を得て、「水道事業を取り巻く環境の変化」、「水道事業における災害対策－震災予防対策～震災応急対策－」、「水道水質管理に関する最近の動向」について研修を実施した。

また、神奈川県企業庁企業局水道部浄水課水質・公民連携グループリーダーの田上弘喜氏による「箱根地区水道事業包括委託－第1期の評価と事業モデル普及に向けた課題－」、水道技術研究センター常務理事の清塚雅彦氏による「事故を未然に防ぐための施設管理～施設の点検・維持管理の重要性～」について事例報告を講演いただいた。

第999回会誌編集委員会（10月29日）

本誌11・12月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。

第756回抄録委員会（11月1日）

本誌2・3月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

水道事故防止研修会（東京会場：11月4日～5日）

浄水場の運転・維持管理に従事する技術職員の方々17名の参加を得て、労働災害及び事故の防止に資すること、水道管路及び浄水場等における事故の未然防止や職員の危機管理対応力の向上等を目的として、「浄水場におけるリスクアセスメント」、「水道事業に係わる事故事例と再発防止策」、「水道事業における危機管理」についてディスカッションを中心とした研修を実施した。ディスカッションでは班ごとに事故の原因や再発防止対策等について、講師が用意した事例を基に討議を行った。

